

第二期ライチョウ保護増殖事業実施計画の進捗状況と 今後の実施予定について

1. 保護増殖事業全体短期目標

- 環境省レッドリストにおいて、絶滅のおそれの評価を絶滅危惧ⅠB類（EN）から絶滅危惧Ⅱ類（VU）へのダウンリストできる状況にする

実施済又は実施中の項目

- ・火打山・焼山、中央アルプス、南アルプス等における生息域内保全や野生復帰（R3～）
- ・中央アルプス、南アルプス等における、なわばり数調査（R3～）

今後実施予定の項目

- ・上記事業の継続
- ・生息域全域における個体数推定及び環境省レッドリスト評価（R5）

- 中・長期目標の具体的な達成内容や数値目標の検討

実施済又は実施中の項目

- ・特になし

今後実施予定の項目

- ・生息域全域における個体数推定及び環境省レッドリスト評価の結果を受けた、中・長期目標の具体的な達成内容や数値目標の検討（R5）

2. 生息域内保全短期目標

- 各山岳集団の生息状況把握・モニタリング体制の検討

実施済又は実施中の項目

- ・火打山・焼山、乗鞍岳、焼岳、白根三山北部地域、仙丈岳、中央アルプスでのなわばり数調査
- ・民間企業と連携した分布状況調査の実施（R4～）

今後実施予定の項目

- ・上記事業の継続
- ・生息域全域の個体数推定（R5～）

- 減少要因の把握

実施済もしくは実施中の項目

- ・南アルプスにおける捕食者対策による効果検証（H30～）

今後実施予定の項目

- ・剥製からのDNA解析による中央アルプスにおける絶滅要因の確認（R5～）

■捕食者対策事業やケージ保護事業、生息環境の改善事業の実施

実施済もしくは実施中の項目

- ・南アルプスにおける捕食者対策事業（H29～）
- ・火打山におけるイネ科除去による生息環境改善事業（本格的な事業区はR2～）
- ・中央アルプスにおけるケージ保護事業（R3～）
- ・中央アルプスにおける捕食者対策事業（R2～）
- ・中央アルプスにおけるニホンザルの追い払い事業（R3～）

今後実施予定の項目

- ・上記事業の継続
- ・火打山における捕食者対策の検討（R5～）

■国立・国定公園における管理事業と山岳関係者間との連携

実施済もしくは実施中の項目

- ・山小屋関係者にと協力した捕食者対策の実施（H29～）
- ・長野県におけるライチョウ保護スクラムプロジェクトへの協力（R2～）
- ・妙高市や長野県ライチョウサポーターと連携した火打山における生息環境改善事業（本格的な事業区はR2～）
- ・地元市町村のケージ保護事業やモニタリング事業への参加受け入れ（R2～）
- ・民間事業者や地元市町村関係者と連携した高山植物栽培やケージ保護に提供する野菜の栽培（R1～）

今後実施予定の項目

- ・中央アルプス国定公園管理運営に関わる会議体への参加（R5～）

■環境収容力の推定

実施済もしくは実施中の項目

- ・現地調査による情報収集（H30～）

今後実施予定の項目

- ・調査結果を元にした中央アルプス地域における環境収容力の推定（R5）

3. 生息域外保全短期目標

■飼育下保険集団の創出

実施済又は実施中の項目

- ・増殖目標個体数に沿った繁殖の実施（H29～）
- ・安定的な繁殖や個体数維持に適した集団年齢構成の検討（R3～）
- ・遺伝的多様性の維持を目指した飼育下繁殖の継続（H29～）

今後実施予定の項目

- ・上記事業の継続
- ・分散飼育によるリスク管理（R5～）

■適正な飼育・繁殖技術の向上

実施済又は実施中の項目

- ・研究機関と連携した飼育技術の向上に関わる研究（H29～）
（腸内細菌の利用や高山植物の代替飼料の探索：中部大学
アイメリア原虫の病原性や駆虫薬の検証など：大阪府立大学
未孵化卵の性状分析や個体の代謝について：日本獣医生命科学大学
死亡個体の病理組織検査や細菌検査による死因調査：日本獣医生命科学
大学・中部大学
糞中ステロイドホルモン測定による繁殖生理と繁殖環境の改善：岐阜大
学）
- ・抗生物質の恒常的利用を行なわない育雛方法の確立
- ・野生個体に模した営巣環境の検討（R3～）
- ・ライチョウ専用ペレットの開発（安全性試験や代謝・消化試験含む）（R3
～）

今後実施予定の項目

- ・上記取組の継続
- ・飼料含有タンパク質量のコントロールによる産卵数の抑制（R5～）
- ・卵殻の構造解析や強度増進に関する取り組み（R5～）
- ・餌飼料開発に関わるライチョウの苦味受容体遺伝子および機能解析（R5
～）
- ・雛鳥における栄養代謝の分析（R5～）

■生息域外保全の体制拡充

実施済又は実施中の項目

- ・衛生管理基準の緩和（R3～）
- ・飼育ハンドブックの改正（R3～）

今後実施予定の項目

- ・分散飼育によるリスク管理および収容能力の向上を目指した新規飼育園館
の確保（R5～）

■新たなファウンダーの確保の技術確立

実施済又は実施中の項目

- ・動物園における雄成鳥からの採精と人工授精（R3～）
- ・卵交換のための採卵・貯卵方法及び輸送方法の技術開発（R3～）

今後実施予定の項目

- ・野生雄成鳥からの採精と人工授精（R6からの実施を想定）
- ・野生復帰準備園との卵交換による中央アルプス由来系統の導入（時期未定）

■高山植物栽培技術の開発と栽培植物の試験給餌用の供給体制の構築

実施済又は実施中の項目

- ・餌資源となる高山植物の栄養分析（H29～）
- ・高山植物の低地栽培試験（R1～）
- ・動物園や地元市町村における高山植物栽培試験（R2～）

今後実施予定の項目

- ・上記取組の継続

4. 生息域内・域外保全共通項目

■野生復帰及び移植技術の検討

実施済もしくは実施中の項目

- ・乗鞍岳から中央アルプスへの3家族移植（R2）
- ・中央アルプスからの2家族ファウンダー確保（R3）
- ・動物園での野生個体の飼育及び繁殖（R3～）
- ・動物園での家族単位での野生復帰個体の創出（R4）
- ・家族単位での野生復帰個体の放鳥（R4）

今後実施予定の項目

- ・保険集団から創出した亜成鳥・成鳥による野生復帰事業の展開

■普及啓発の推進（高山帯における生物多様性保全を含む）

実施済もしくは実施中の項目

- ・捕食者対策に関わる普及啓発ポスターの掲示（南アルプス R3）
- ・中央アルプスにおけるライチョウ事業に関わる事業概要（目撃情報カードに付記）及び民間企業と連携した目撃情報収集に関するポスター掲示（R4～）
- ・中央アルプス国定公園記念イベントでの事業概要展示（R3）
- ・ライチョウ会議、ライチョウサポーター設置自治体や地元教育機関におけ

る事業成果等の報告（R2～）

- ・動物園での個体展示やイベント開催（R2～）

今後実施予定の項目

- ・上記取組の継続